



「アイスクリームの日」5月9日

幕末、徳川幕府の使節団がアメリカで口にしていたのが、日本人初のアイスクリーム体験だと言われています。初めて国内で作られたのは1869年、なんと152年も前です。その頃は「あいすくりん」と呼ばれていました。



5月の誕生木

5月27日 ブラシノキ

オーストラリア原産。日本名は『金宝樹』  
「はかない恋」「恋の炎」

5月9日 オオデマリ  
(大手毬)  
「上品」「返礼」



5月13日 キソケイ  
(黄素馨)  
「恋心」

5月17日 五葉ツツジ  
「友人が多い」



みどりの豆知識



斑入りの植物とは？

斑入りとは、主に葉において、通常一色となる部分が二色以上になり、模様をつくる現象をいいます。

さて、植物の養分の源となる『光合成』は、葉に含まれる『葉緑素』の働きで行われます。葉が緑に見えるのは『葉緑素』が緑の色素であるためです。斑入葉の白い部分には『葉緑素』がないゆえに光合成が行われません。

このため、斑入植物は光合成で得られる養分が少ないので、成長が遅く、強い日差しや環境のストレスへの耐久性が劣る、といわれています。

しかし、これはあくまでも同品種間で比較しての事。市販されている斑入り植物のほとんどは、特に難しい手入れは必要ありません。

むしろ、色々な模様で楽しませてくれる斑入り植物はファンも多く、リーフガーデンには欠かせません。なによりお庭が明るくなるのでおすすめです。



# 拡大写真から お花を当てようクイズ



普段咲いているお花でも、中々至近距離で見ることはいはず。  
ええっ、こんなになってるのー！と驚くかも。

※答えは下段にあります



## みどりのお知らせ

### もえいず 萌出る季節は根も出る いず

## 樹木の植付、特に移植は控えましょう

多くの方が、『樹木を植えるなら春』と書いていらっしゃるのではないのでしょうか。  
間違いではありませんが、春から初夏にかけて絶対に避けてほしい期間があります。

それは、『**新芽が吹いてから固まるまでの期間**』（4月中旬から5月下旬）

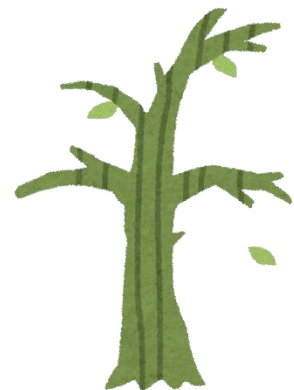
※その年の気候によって変動有

この期間の樹木は、細根と呼ばれる白く繊細な根を出しています。これは、一生懸命水を吸い上げて、  
新芽を大きく育てるため。この頃の樹木は一心に次世代の葉を育てている所なのです。  
この根を傷つけてしまえば、新芽は萎れ、水分は蒸散し、樹木はたちまち弱ってしまいます。

極寒、酷暑時も控えた方が良いでしょう。  
霜や雪が混じると根の活着が悪くなりますし、  
気温が高いと水分不足に陥る危険があります。

正確には樹種によって異なりますが、おおまかな適期は下記のとおりです。

- 常緑樹・・・寒がりなので、暖かい時期に
- 落葉樹・・・落葉した後、寝ている際に



地中であって見えませんが樹木にとって、根っこは要。緑の葉っぱを茂らせるのも花を咲かせるのも  
根っこの働きがあつてこそ、なのです。